

小2

国語

読解

なまえ

読解 ツバメの子そだて

が ち

つぎの ぶん しょう を よ 読んで、 もん だ い に こた え ま し ょ う。

- ① ツバメは、どこに すを 作りますか。
- ア 木の 上 イ 人の 家の のき下 ウ 土の中
- ② ツバメは、すを 作るのに 何を はこびますか。ぬき出しましょう。(7字)
- ③ たまごは、どれくらいで かえりますか。
- ア 二日ほど イ 一しゅうかんほど ウ 二か月ほど
- ④ ひなは、すから とび立った あと、秋には どう しますか。

春^{はる}に なると、ツバメが 南^{みなみ}の 国^{くに}から 日本^{にほん}へ やって来^きます。ツバメは、人^{ひと}の 家^{いえ}の のき下^{した}に すを 作^{つく}ります。

すは、どろと かれ草^{くさ}を 口^{くち}で はこんで、 少^{すこ}しずつ 作^{つく}ります。で き上^あがった すの 中^{なか}に、ツバメは 四^{よっ}つから 六^{むっ}つの たまごを うみます。

たまごは、二^にしゅうかんほどで かえります。親^{おや}の ツバメは、一^{いち}日^{にち}に 何^{なん}百^び回^{ゃっかい}も 虫^{むし}を とつて きて、ひなに あたえます。

ひなは、三^{さん}しゅうかんほどで、すから とび立^たちます。そして、秋^{あき}に は、親^{おや}と いっしょに 南^{みなみ}の 国^{くに}へ 帰^{かえ}って いきます。

